皆さんの願い・要望

応えて実現したい

昨年末から年始に実施した「市民アンケート」に、たくさんの市政への要望が寄せられました。寄せられた中から、実現していくために多かった要望を整理しました。
（なお、紙面の都合上全ては掲載していません）

その１
（その２は裏）

特養の増設を

待機があまりにも長く、その間に亡くなってしまった。通院、ショートステイとお金がかかる。特養施設を増やして欲しい。

小田原には、有料老人ホームはいくつかあるが、特養は少ない。母は三年間待ったが、入所できないまま死去した。

医療費負担、２割を１割に戻して

国保料を下げて

ない者からさらに取るのかとふと思うと、怒りに似た感情が沸く。

年齢を重ねて所得が減っていくのにかかわらず、国保料を一律支払っていかなければならないのはきつい。

とにかく税金、国保料が高い。何とかして下さい。

自分は障害年金で暮らしており、もう数百円下げてもらえたらありがたい。

子育て支援

認可保育園を増やして

待機児童を無くして欲しいです。そのためには、保育所を増やす、保育士を増やすことだと思います。

小田原市に引っ越してきて後悔している。
入れる保育園がないのなら、幼稚園の延長料金の無償化などを行ってほしいです。

育休の人優先しすぎる。自営業だってフルタイムで働いているのに点数が低いなんておかしい。そのせいで入れない。

給食費の無償化

保護者の負担が大きい。少しでも負担を減らす対策として無料化を。

１人あたりにかかるお金、昔の倍くらい。せめて義務教育の間は、小・中給食費を無料にして。

少子化対策を本気でやらないと、どんどん国力が弱くなる。20 代には即効的に、10 代には長期的に。

１８才まで医療費無料化

インフル、コロナ、二回接種、人数分で費用がすごくなる。せめて補助金を。もしくは無料に。

子どもが小さい頃は、すぐに熱を出すとか病にかかりやすい。無料化によって気軽に病院に行けることが大事な気がします。

出産一時金が５０万円に引き上げられるそうですが、５０万円でも足りないです。

一時金等ではなく、安心して育てられる持続的な支援や環境整備を希望します。

３０人学級をいじめ・不登校対策

30 人と 35 人の差、どれだけ大きいか具体的に考えて見て。テストやノートのチェックだけでも週に 1～2 時間は違う。

現場は手不足で疲弊しきっています。
小田原市はいち早く 35 人学級導入に動いてきた経緯があり、ぜひ力を入れて。

コロナ禍で更に不登校が増大しているという。将来この国を背負っていく若い世代がなぜ不登校になったか、掘り下げて考えるべき。

真剣に問題視してほしい。常に子どもに寄りそい、みんな平等に公正に対応してほしい。

日本共産党
小田原市委員会

小田原民報 号外（東部地域版）
日本共産党の見解を紹介します

2023 年 4 月　発行
発行責任者　植田龍男
小田原市堀之内 318- 1
TEL　0465-20-3261

実現したい
皆さんの願い・要望

その2

公園・遊び場

小田原には子どもが集まる魅力的な公園が少ない。ないので隣町まで行く。造って欲しい。

わんぱくランドの駐車場、無料に戻して。

公園の砂場に犬のフンが放置されたり、ゴミがあったり。何とかして。

コミュニティバス

最終バスの時間が早い。終バス後タクシーが無いときがある。免許返納すると住み辛くなる。

通勤で利用しており、本数が少なくて不便です。終バスも早いです。バスの本数が多ければ、もっと住民が増えると思います。特に子供が少なくなりました。

昼間バスが無く困っている。1時間にせめて1本は通って欲しい。

駅から遠い事をハンデに感じない交通網作りをしてほしい。

国府津駅行きの本数が激減し、バスとタイミングが合わず、倍の2時間以上かかってしまう。

空き家対策・住宅

空き家バンクなど、若い世帯に土地を安く引き渡してもらえると嬉しい。

安い家賃で借りられたら、人が移住してくるのではないか。

安い家賃で市営住宅に住みたいです。

太陽光発電、エネルギー 農林業の振興

農林水産業に行政の力を入れないと、後継者をなくすでしょう。太陽光もとにかく対策が遅すぎる。

我が家にも空き地になっている所が2箇所ある。太陽光発電などできればいい。

前市政のもとではエネルギーを含めて地産・地消・地域の再生、農業政策に力を入れていた。今後も活かして欲しい。

かつては水田が広がり、非農家でも農家から米を買っていた。近隣の山の材木も使っていた。

コロナ対策

病院で働いている。大きな波が来るたびに大変。その設備に関わる者も大変。それを踏まえた形で対策を。

コロナ禍の今、自営業は大変な不景気です。支援金をお願いします。

どこでもいつでもPCR検査が無料でできて、主治医が適切な治療をしてくれる体制に。

平和・核廃絶

軍備費・増税がすでに決まっていることとして、そもそも議論がされないことにもっともっと怒りをぶつけるべきです。一番ほくそ笑んでいるのは、軍需産業です。

平和な世界をこれからもよろしくお願いしたい。

何とか平和を保っている現状。欲のために自分中心のために行動を起こさないよう願います。

軍事費拡大は、多くの国民が納得いかないと思います。軍事費より、物価高騰対策、消費税減税に力を注いでほしいです。

核兵器が平和を脅かしています。戦争がなくなることを祈っています。

全力で実現へ

日本共産党
小田原市議会議員
横田えいじ

「市民アンケート」に具体的な要望、意見をいただき、ありがとうございます。

その多くが、これまで日本共産党の先輩議員たちが市議会で質問し、引き継いできたものです。例えば、子どもの医療費助成は30年ほど前に、内田輝夫議員が取り上げ、最初は就学前まで、そして、今は中学生まで無料になりました。今度は、18歳までです。

他の要望も一歩でも二歩でも前進するように全力をつくします。